

平成 29 年度

# 農業委員会事務局

## の取り組み実績

### 1. 重点施策・事業

#### (1) 新・農業委員会制度での組織・活動体制の整備

目標	「農業委員会等に関する法律」の改正により、平成 29 年 7 月には、主に合議体としての意思決定を行う「農業委員」と、担当区域における農地等の利用の最適化の推進を行う「農地利用最適化推進委員」で組織される新たな農業委員会体制に移行します。新体制への円滑かつ着実な移行を図ります。
取り組み	改正法を踏まえ、農業委員会の新体制における農業委員及び農地利用最適化推進委員の役割を検証し、「農業委員会会議規則」、「農業委員会常任委員会の事務の取扱いに関する細則」等を改正するとともに、円滑な農業委員会の運営に努めます。また、新任委員に対する農業委員会制度及び業務等についての研修を実施します。
実績	平成 29 年 6 月に「農業委員会会議規則」、「農業委員会常任委員会の事務の取扱いに関する細則」等を一部改正するとともに、平成 29 年 7 月 20 日には新たな農業委員会体制へ移行し、総会・協議会・常任委員会を開催しました。また、農地パトロールを平成 29 年 8 月から 10 月にかけて実施しました。さらに農業委員会研修会を 11 月 7 日に開催しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

#### (2) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

目標	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため、引き続き、農地銀行（農地の貸借等を進める組織）による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
取り組み	農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載等により農地銀行制度の啓発・周知に努めます。
実績	平成 30 年 3 月末時点で新規設定 36,733 m <sup>2</sup> 、再設定 50,969 m <sup>2</sup> の利用権設定を行いました。また、平成 29 年 9 月及び平成 30 年 1 月に発行した「農委だより」に記事を掲載し、農地銀行制度の啓発・周知に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

### (3) 農地適正管理システムの精度向上

目標	農地台帳の法定化とともに、農地台帳及び農地に関する地図について、インターネットの利用等により公表が義務化されており、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用の調整に資するほか、法令業務や農地利用の最適化の推進のため、農地適正管理システムの精度向上を図ります。
取り組み	農地の貸借料情報などの農地情報の調査を行い、農地台帳管理システム（農業者、所在、地番、面積等の農地情報のデータベースを管理）の精度向上を図るとともに、本格稼動した全国一元的な新たな農地台帳・地図システムである農地情報公開システム（フェーズ2）の把握や活用方法を検討します。
実績	農地の権利移動や転用許可等のデータ入力と、年内には貸借料情報などの農地調査を行い、農地台帳管理システムの精度向上を図りました。 また、農地情報公開システム（フェーズ2）については、システムの把握を行うとともに、その農地詳細情報の地図等を調査業務に活用しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
窓口サービスの充実	農地転用案件の手続き等、申請者の理解がより得られるよう、チェックリスト等の改善を図り、窓口サービスの充実を図ります。
実績	農地転用の手続き等に来庁された申請者がより理解しやすいよう、職員のスキルアップとチェックリストの改善などに取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ワーク・ライフ・バランスの推進	職場における業務遂行体制の工夫や意識改革により、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に努めます。
実績	農業委員会総会に関する事務については、議案書作成など各種業務を輪番制とし、業務を平準化することで時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

### 3. 予算編成・執行

- ◆引き続き、農地適正管理システムの精度向上に向けて、国の補助制度の積極的な活用を図ります。

実績	平成 29 年度機構集積支援事業費補助金の交付を受け、農地の賃貸借情報を収集し、農地適正管理システムの精度向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、新規加入者を増やすことにより、手数料等の交付金の増収を図ります。

実績	農業委員及び農地利用最適化推進委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、手数料等の交付金の確保に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆事務局内において運営方針に基づく組織目標の共有化を行うとともに、目標達成を確実にするため、各業務の取り組みに係る進捗管理の徹底を行います。

実績	組織目標の共有化を図り、各業務の進捗管理を徹底することで、目標達成に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報の共有化を図ることにより、組織力の向上を図ります。

実績	朝礼時にスケジュールや情報を確認、共有化し、組織力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆各種研修会や府内等の業務担当者会議に積極的に出席するとともに、北河内地区の各農業委員会事務局との連携などを通じて、法令事務等に係るスキルアップに努め、職員力の向上を図ります。

実績	各種研修会や業務担当者会議に出席することで、北河内地区の各農業委員会事務局との連携を深め、職員力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆農業振興課職員との相互併任により、情報共有化をはじめ、農業の振興、農地の保全等の業務を共同で行います。

実績	農地情報の共有化やふれあいツアーの従事など、農業振興事業について共同で取り組みを行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆定期的に発行している市内農業者向け情報誌「枚方市農委だより」について、農業者に必要な情報を適時提供できるように内容の充実を図り、農業委員会活動がより身近に感じていただけるよう努めます。

実績	「枚方市農委だより」第54号を平成29年9月に、第55号を平成30年1月に発行し、農業者に必要な情報提供を行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆ホームページを充実し、農地転用案件等の手続き等が、よりわかりやすくなるよう、情報提供に努めます。

実績	適宜、ホームページの更新を行い、わかりやすい情報提供に努めました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】